平成３０年度
第１回水戸市新荘市民センター運営審議会

（日時）　平成３０年６月２８日（木）
　　　　　　　　　　　午後１時３０分から
（場所）　水戸市新荘市民センター
　　　　　　　　　　　大会議室

（次　第）

1　開　会

2　委嘱状交付

3　議　題

（１）平成３０年度運営方針及び重点目標

（２）平成３０年度事業計画

（３）平成３０年度定期講座（教室・クラブ）申込状況

（４）その他

4　閉　会

（１）平成３０年度運営方針及び重点目標

運　営　方　針

地域コミュニティ活動の拠点として，その継続や発展に向けた支援に努めるとともに，生涯学習活動の拠点として，その充実や成果を生かす環境づくりに努め，さらには，東日本大震災での経験を踏まえ，地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重　点　目　標

１　地域コミュニティ活動の推進

（１）　地域コミュニティ活動の活性化

（ア）地域自らが地域の将来像や課題を共有し，特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう，地域コミュニティプラン実現に向けた取組への支援を促進し，住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

（イ）各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに，ＮＰＯ等との連携を促進しながら，よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど，地域コミュニティ推進体制の充実，連携強化を図る。

（ウ）町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため，地域団体や関係機関と連携強化を図り，地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに，地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。

（２）　地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については，地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから，平常時より，地域での防災訓練への支援，地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど，地域における防災組織との連携を図る。

２　生涯学習活動の推進

（１）　学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては，「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに，家庭教育への支援や青少年の健全育成，少子高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた，現代的課題を取り扱った学習機会の提供に努める。

（ア）市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し，健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう，生涯学習のきっかけづくりを図るとともに，それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

（イ）現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくために，成人学級，高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により，地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また，事業実践集を活用しながら，地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開するよう努める。

（ウ）家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は，子どもが基本的な生活習慣，生活能力，人に対する信頼感，豊かな情操，思いやりや善悪の判断，自立心や自制心，社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割がある。

これまでのふれあい学級の内容に加え，未就園児や小学校低学年を中心とする家庭教育の支援を強化し，家庭が本来果たすべき役割を見つめ直し，親の役割，子どもの心の理解，躾など家庭での教育について考え，学び合う家庭教育学級等を開催する。

（２） 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう支援し，地域内の人材の発掘・育成を行うとともに，地域の活性化や特色あるまちづくりにつながっていくよう環境づくりに努める。

（ア）地域資源の活用推進

市内には，歴史的な資産や史跡をはじめ博物館，歴史館などの文化施設，学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり，豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに，生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら，地域資源の有効活用に努める。

（イ）学習活動の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など，学習の成果を発表する場を創出することにより，学習者同士や参加者との交流を拡大させ，新たなネットワーク構築に努める。

（３） 学校，家庭，地域の連携の強化

学校，家庭，地域が目標や課題を共有し，それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し，地域社会全体の教育力の向上に努める。

市民センターにおいては，それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能を十分発揮する。

（ア）次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

学校，家庭，地域が相互に連携を図りながら，様々な形で異年齢集団との交流や大人と接する事業など，子どもたちが直接体験する場を提供し，社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

（イ）社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには，良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために，家庭の教育力の向上だけでなく，学校，家庭，地域が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら，家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

（２）平成30年度事業計画

区　分	対　象	事　業　名	備考
1 生涯学習事業　定期講座	一　般	37講座(2教室, 35クラブ　5月～3月) 作品展示会(10月～3月) 常陽銀行末広町支店ロビー 市民センター市民サロン	
2 生涯学習事業　教養講座	地区高齢者	高齢者学級(6月～11月)6回	
	地区女性	女性学級(5月～11月)5回	
	小学生(保護者含む)	・新荘地区こどもエコクラブ(5月～4月) ・夏休み子ども教室 親(祖父母)と子の料理教室(7月21日) おもしろ理科教室(8月8日) 夏休み！子ども絵画教室　(8月22日・23日) ・かるた大会(1月)	
	未就学児の保護者	・子育て学習講座(9月14日) ・家庭教育講演会(ブロック単位)	
	一　般	・教養講座移動学習(7月4日)	
3 コミュニティ活動推進事業	一　般	・ユニカール大会(5月20日・2月10日) ・新荘夏まつり(7月29日) ・エコ・リサイクル研修(9月6日) ・市民運動会(10月7日) ・歩く会(11月11日) ・新荘ふれあいまつり(3月3日) 定期講座発表会 バザー，模擬店	

（3）平成30年度定期講座（教室・クラブ）申込状況

単位：人

No.	講座名	定員	継続	新規	合計
教室					
K1	1才児親と子の音楽あそび	親子15組	2組	13組	15組
K2	2才児親と子の音楽あそび	親子15組	2組	8組	10組
小計		60	8	42	50
クラブ					
1	いきいきヘルス体操A	50	35	0	35
2	いきいきヘルス体操B（男子）	20	13	1	14
3	囲碁	35	30	2	32
4	ウォーキング	30	31	0	31
5	裏千家茶道	20	17	0	17
6	英会話	18	12	6	18
7	絵てがみ	25	18	2	20
8	歌謡	25	14	2	16
9	着付け	18	15	2	17
10	コーラス	25	10	5	15
11	古文書	20	14	0	14
12	山野草	15	9	1	10
13	指圧	21	14	2	16
14	刺しゅう	15	10	0	10
15	書道	17	12	0	12
小計		354	254	23	277

No.	講座名	定員	継続	新規	合計
16	石州茶道（昼）	20	15	0	15
17	太極拳	30	13	3	16
18	卓球A	22	15	2	17
19	卓球B	27	23	2	25
20	男子料理	15	10	1	11
21	ダンススポーツ	20	13	2	15
22	手まりA	18	14	1	15
23	手まりB	18	15	2	17
24	童謡	70	61	5	66
25	フォークダンスA	20	13	0	13
26	フォークダンスB	20	12	0	12
27	フォークダンスC	20	12	0	12
28	ふるさと歴史	30	22	2	24
29	ペン習字	18	12	5	17
30	ヨーガA	25	21	3	24
31	ヨーガB	25	22	3	25
32	ヨーガC	25	20	3	23
33	ヨーガD	25	20	0	20
34	ヨーガE	25	17	4	21
35	和裁	22	16	3	19
小計		495	366	41	407
合計		909	628	106	734

新規受講者数 106 名

継続受講者数 628 名

総受講者数 734 名

水戸市新荘市民センター運営審議会委員（H30,31）

（氏名五十音順）

	氏　名	役　職　名
1	青木　實	社会福祉協議会新荘　支部長
2	川上　利通	新荘地区高齢者クラブ連合会　会長
3	田口　允彦	住みよいまちづくり新荘会　事務局長
4	袴塚　禮子	新荘女性の会　会長
5	矢萩　賢一	新荘小学校　校長
6	渡邉　妙子	新荘地区民生児童委員協議会　副会長